

審判主任	検査所責任者

## 剣道用具確認証

大会会長 殿

本大会の出場にあたり、使用する用具について、「剣道試合・審判規則」および「大会要項」に即し、下記項目の確認いたしました。

日付： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

\_\_\_\_\_ 剣道連盟

選手氏名： \_\_\_\_\_ 印

### 記

1) 竹刀関連：検査本数：合計 \_\_\_\_\_ 本（大会検査所提出本数）

竹刀の長さ（全長）が適正

竹刀の重さが適正

竹刀の先革先端部の太さ（対辺）が適正

先から8センチメートル部分のちくとうの太さ（対角）が適正

先革の長さが適正

中結の位置（＝全長の約1/4）が適正

各ピース（竹）の間の隙間がない

破損・ささくれはない

不当な付属品を使用していない

安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていない

2) 小手関連

こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部）の1/2以上を保護している

小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ぶとん部最長部と最短部の差が2.5センチメートル以内である

小手頭部・小手ぶとん部の十分な衝撃緩衝能力がある

3) 面関連

肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている

面ぶとんの十分な衝撃緩衝能力がある

4) 剣道着関連

袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れること）

以上

